

一般財団法人 おおさか創造千島財団 MASK 「Open Call 2019 - 2020」

募集要項

近年、全国各地で大規模な芸術祭やアートイベントが開催され、アーティストが大型作品を発表する機会が増えています。その一方で、広い制作場所が用意できず、作品の規模を縮小せざるを得ない、また、保管場所の確保が難しいため、展覧会後の作品の解体や廃棄を余儀なくされるといった、アーティストが直面する創造環境面での課題があります。

そういった状況を打開するため、工場跡を活用し、大型作品を無償で保管・展示する「見せる収蔵庫」として MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA] が 2014 年に誕生しました。以来、宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、名和晃平、やなぎみわ、ヤノベケンジの作品を収蔵し、毎年開催する「Open Storage」では一般公開やイベントを実施。北加賀屋がかつて重化学工業で栄えた地域であったという歴史的背景と、音や匂いを気にすることなく大型作品の制作が可能であるという、ものづくりにおいてきわめて重要な制作環境を提供できることをメリットとし、アーティストのポテンシャルを拡張する創造拠点として活動・発信を続けています。

このように、MASK は単なる収蔵庫を超えた「創造の場」として今後も存在すべく、この度、重厚長大な作品制作に果敢に挑むアーティスト支援を目的とした、新規収蔵作品のプロポーザル募集を行います。選出者には、作品保管スペースを無償で提供するほか、制作・滞在場所、活動費などを支援します。

作品は、申請時点で完成しているもの、制作途中のもの、プラン段階のものいずれの場合も申請可能です。「展覧会に出品した作品の行き場が決まっていない」「大型作品制作の制作場所と保管場所を探している」「作品の保管場所を必要としている」そういったアーティストやアートディレクター、芸術祭やアートイベント事務局からの申請をお待ちしています。

他の芸術祭・国際展等で展示が予定されている作品も対象とする画期的な本プログラムによって、アーティストが抱える制作面での懸念を解消するだけでなく、アート作品の“制作－展示－収蔵”のエコシステムの循環を促すことを目指しています。

審査員 (50 音順)

飯田志保子 (インディペンデント・キュレーター、あいちトリエンナーレ 2019 チーフ・キュレーター [学芸統括])

木ノ下智恵子 (MASK キュレーター、大阪大学共創機構構学共創本部 准教授)

木村絵理子 (横浜美術館・主任学芸員、ヨコハマトリエンナーレ 2020 企画統括)

サポート内容

- 1) 作品保管スペースの提供 (MASK)
- 2) 作品制作場所／滞在場所 (MASK) の支援
- 3) 支援額最大 200 万円 (作品制作、展示、輸送に係るすべての経費に利用できます※1,2)

※1 MASK に保管する作品に関する用途に限ります

※2 作品発表「Open Storage」(2020 年 11 月から 2021 年 3 月の間約 1 ヶ月) の開催に係る一切の経費 (広報費、記録費、スタッフ人件費、関連イベント開催費等) は主催者負担。ただし作品保険費は除きます

● 会場 (制作・展示・保管)

MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA] (大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48)

募集概要

● 募集件数

1 件

● 申請対象者

アーティスト、キュレーター、ディレクター等及び、芸術祭やアートイベント等の主催団体

※アーティスト以外の申請の場合は、事前に、作者本人の同意が取れていること

● 申請条件

1) 2020 年 11 月のプレイベント及び、2020 年 11 月から 2021 年 3 月までに開催予定の展覧会「Open Storage」に参加できること (時期応相談)

※上記を満たせば、これから開催される芸術祭、国際展、アートイベント等で展示予定の作品も対象。ただし、当財団のクレジット表記を明記すること

2) 下記の A,B いずれかを満たす作品

A) 2020 年 11 月までに完成予定の作品 (申請時点で制作中・プラン段階共に可)

B) 2014 年 (「Open Storage」開始年) 以降に制作された作品

3) 30 歳以上のアーティスト個人または団体の作品

※団体の申請の場合も、構成員全員の年齢が 30 歳以上であること

4) 幅 7m× 奥行 6m× 高さ 5m のスペースで成立する作品

※移動・組み立て可能なもの。元工場を利用した倉庫スペースの為、温湿度管理を必要とする作品や電源を多用する作品、精密機械を使用する作品は対象外。これから制作する作品については、キュレーターや事務局との相談の上、プランを調整いただく可能性がございます

※パフォーミングアーツに用いられる大型作品や舞台美術セット、装置等も対象です (ex. 金氏徹平「tower(THEATER) 舞台セット」、やなぎみわ ステージトレーラー「花鳥虹」)

● その他

- ・ 作品ジャンルは不問
- ・ 他の助成金等との併用可能

● 注意事項

- 1) 採択後は、おおさか創造千島財団との「覚書」等、各種書類提出が可能であること
- 2) 当財団は MASK の貸主として建物の管理・警備を行うものの、作品に対する保管義務を負うものではありません。したがって、作品の取り扱いについては最善の注意を払いますが、作品が MASK 内で何らかの損傷を被ったとしても、当財団では一切の責任を負いません
- 3) 2020年度の「Open Storage」開催以降も、保管作品を一般公開・展示する際には、作品を無償で提供し、設営・展示、及びその広報にできる限り協力することを条件とします

● 応募締切

2020年4月15日(水) 23:59 必着

● 応募方法

下記の資料①②を添付の上、件名を「オープンコール応募【氏名】」とし、
mask@chishimatochi.info までお送りください(申請書類は日本語のみ)

- ① 申請書・・・規定の書式を用い、A4サイズ3枚のPDFファイルで提出
- ② 作品や作家に関する資料(任意提出)・・・A4サイズ5枚以内のPDFファイルを添付(最大容量は5M)
※映像・音楽資料は、最大2点・各3分以内にまとめたものを投稿サイト等にアップロードし、PDFファイルにリンクを記載ください。オンラインストレージでのデータ送付は受け付けません

● スケジュール

書類審査・・・2020年4月下旬

結果通知・・・2020年4月30日メールにて申請者全員に結果を通知

作品制作(MASK滞在/制作場所利用可能期間)・・・2020年5月半ばから2020年10月(約6ヶ月間)

作品展示・・・2020年11月から2021年3月の間約1ヵ月(時期応相談)

● 現地見学日

下記の日程で MASK 特別開館を実施します(予約不要)

2019年12月7日(土)、2020年1月18日(土)、2月15日(土)、3月7日(土)

いずれも 13:00 から 17:00

そのほか、当財団事務所営業時間中に限り、アポイント制で随時対応いたします
(下記のお問い合わせ先からご連絡ください)

● お問い合わせ先

一般財団法人 おおさか創造千島財団 事務局

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋 2-11-8

TEL 06-6681-7806 FAX 06-6681-6188 (平日 9:30-17:00)

E-mail mask@chishimatochi.info

<http://www.chishimatochi.info/found/mask/> <http://www.chishimatochi.info/found/>